

祐善寺だより

第40号

発行日

2018年7月6日

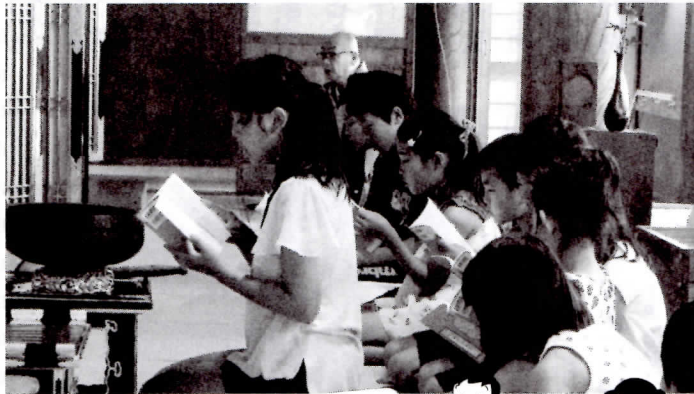
真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生20-2 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170



「祐善寺納涼祭&子ども報恩講」

7/21 開催決定!

皆様、是非ご参加下さい



子ども報恩講は、昨年初めて開催。子どもたちによるお勤めです。



いよいよ夏本番。暑い暑い夏がやってきます。今年で第八回、恒例の「納涼祭」を、今年も開催する運びとなりました。
子どもさんから高齢の方、門信徒様、地区の皆様、有縁の皆様まで、楽しいひと時を緑豊かな祐善寺納涼祭で過ごしてみませんか。
前回からは、子どもさんたちによる「子ども報恩講」も、始まりました。



夏の餅つき大会は、祐善寺納涼祭の名物メニューの一つです。



毎回大好評、夏の風物詩「流しそうめん」、「旨い焼き鳥コーナー」、祐善寺納涼祭名物となった「餅つき大会」、「ビンゴゲーム大会」など、お楽しみが盛りだくさん。
お腹いっぱい食べてね。最後は、全員で合唱。食べて歌って楽しみましょう！
実行委員一同、精一杯趣向をこらして、たくさんの方のご参加を心待ちしております。

(実行委員長 上野三千男)

祐善寺納涼祭&子ども報恩講のご案内
とき 七月二十一日(土) 午前十一時開会
会場 祐善寺本堂&境内 一円
【日程】
★子ども報恩講(十一時)
○子どもたちによる正信偈お勤め
○ゲーム、仏さまなぞなぞクイズ etc
○参加者全員で「誓いのことば」唱和

★納涼祭

- グルメコーナー(流しそうめん/焼き鳥/焼きそば/フランクフルト/枝豆etc/餅つき大会)
- ゲームコーナー(ヨーヨー釣り/スマートボールすくいetc)
- ビンゴ大会

★賛助演奏

- 上野養治氏ギター弾き語り

★参加費 一人 五百円(中学生以下無料)

右のとおり、「祐善寺納涼祭&子ども報恩講」を開催いたしますので、ご家族、ご親戚、ご知友をお誘いあわせてご参加下さいますよう、お待ちしております。
梅雨明けの真夏の一日、仏さまに見守られながら、皆で楽しい思い出を残しましょう！

(祐善寺納涼祭&子ども報恩講実行委員会)

ボランティアさん募集

炎天下で恐縮ですが、「納涼祭&子ども報恩講」の運営を、お手伝いして下さるボランティアさんを、募集しています。
どうか、ご協力下さいますようお願いいたします。

ご協力頂ける方は、お手数ながら祐善寺までご連絡頂けますとありがたいです。



三十七年ぶりの豪雪
祐善寺を守った
みんなの心



今年の雪には本当に苦労しましたね。毎日降り積もる雪を眺め、誰しも不安な思いにかられたものです。

あの雪の中で、大きなお御堂や庫裡の建物を見守って下さったご住職とご家族の皆さんは、心身共に大変なご苦労をなさった筈です。町道までの車道を確保するのに、一日に何回も除雪されたことでしょう。屋根雪のことが心配で、眠れない夜が何日も続いたに違いありません。本当にご苦労様でした。大変でした。そつした状況の中、役員と檀家さん有志のお力で二日間にはわたって、お寺の特に気掛かりな個所の除雪と排雪の作業が行われました。



本堂屋根からずり落ちた雪が本堂裏を埋め尽くしました(2月8日)




庫裡屋根の雪下ろしは、何年ぶり?(2月11日)

大事な自分達の祐善寺をみんなが心一つにして協力し、あの豪雪から守ることが出来たのです。本当に有難いことです。皆さん、ご苦労様でした。有り難うございました。

(野村軍一)

孤独死した方の遺骨が眠る 永代供養墓が建立!



私は祐善寺住職の傍ら、社会福祉士として家庭裁判所から成年後見人を選任され活動しております。私が受任する方の多くが、経済的トラブル等で親族から見放され、孤立した状態で生活しており、被後見人が死亡された場合、遺骨の受取を拒否されることしばしば起こりました。



親族が引き取らない遺骨が眠る永代供養墓

私は僧侶でありますので、その遺骨を、物を捨てるように葬儀業者に処分してもらうことができませんでした。本堂須弥壇下のお骨収納段で一時的にお預かりする遺骨の数は、十九体にも及びました。

私は四十数年、祐善寺の住職として、また、福祉の世界でご飯を食べて、また、福祉の世界でご飯を食べて、また、福祉の世界で、御恩返しの意味も込めて、このたび、増谷石材工業(株)増谷社長様の格別のご厚意も頂き、お陰様でこれらのご遺骨を納める永代供養墓を、祐善寺総墓横に建立することが出来ました。

先日、増谷社長様にもご参列頂き、入仏法要も済ませ、十九体のお骨も納められました。

なお、この件については、福井新聞記者の取材を受け、六月四日付社会面で大々的(?)に取り上げられ、反響もありました。でも、いささか

困惑しております。(住職)

平成30年度護持費の志納よろしくお願ひします

祐善寺を永代に亙って護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のお通りご志納下さいますようお願いいたします。

◇護持費の使途

- ・報恩講の厳修費や教化事業の実施
- ・本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・本山相続講、福井教区賦課金等
- ・その他

◇年額

一戸 一〇、〇〇〇円(以上)

◇志納方法

- ・寺へ直接志納する
- ・秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・地区の役員さんに志納する
- ・郵便振替口座

(〇〇七七〇—九一三〇七二一)

・加入者〓祐善寺

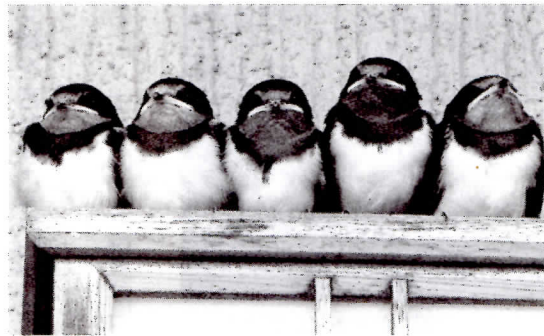
へ振り込む

◇志納期限

毎年十一月末日

投稿ページ

私達 ツバメの赤ちゃん達の よろしく



野村軍一

写真は六月五日の早朝、自宅の玄関で撮影したものです。前夜までは間違はなく勝手口の巣の中にいたのに、朝にはご覧の通り。まだ十分に飛べないのに、どうやってここまで来たのでしょうか。まさか一列に並んで、ここまで歩いてきたわけではないのだろっし……。



俳句

野村明良

親鸞の教えに生きる

八十路かな

亡き人を偲び足向く 祐善寺

寺参り 昔石段 いま車

つぶやき

松島守



森友、加計問題、何故解決しないのだからか。安倍首相、昭恵夫人への官僚の忖度による決裁文書改ざん、隠ぺい、削除……

大人は、子供に「嘘つきは泥棒の始まり」と教えるが、大人は世間に「嘘も方便」と開き直る。政治の世界に、日大アメフト部の選手のような人はいないのか。「裸の王様」に忠告できない取り巻きを、冷めた目で見ている国民がいる。何と情けない事だろう。
大人の背中をみて、子供達は何を感ずるのか？

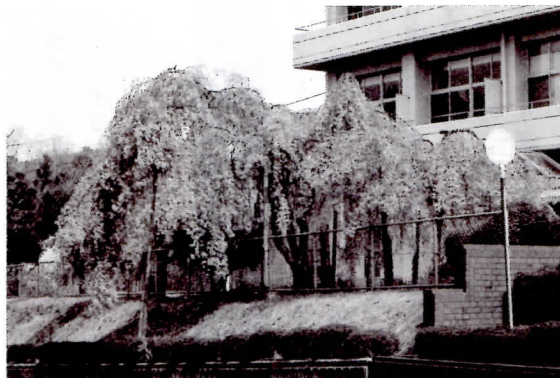
今思う

上野 三千男

日本列島が森友・加計学園問題で大揺れ！ 野党と政府が対立！
ニッポン丸は、どこを航海（後悔）しているのでしょうか。

写真二点

島 由太郎



糸生中学校（現在の越前町生涯学習センター糸生分館）校庭に咲く枝垂れ桜です。私の次男が卒業した第四十四回卒業記念樹として植樹されたものです。あれから二十数年、こんなに立派な花を咲かせています。



昨年の納涼祭の準備の一コマ。納涼祭に来られるお客様をおもてなすために、女性実行委員のスタッフの皆さんが、真心をこめて打ち合わせをしています。

投稿・お便り募集

平成十二年二月に「祐善寺だより」を発行して、今号で第四十号を迎えました。

これを機に、「祐善寺だより」が更に多くの方々によって支えられ、支持され、読み継がれていくことを願い、今号より、「投稿ページ」を設けました。皆様からの「おたより」「花だより」「写真と思い出」「俳句」「旅行記」「本の紹介」「つぶやき」「政治へひとこと」「お寺へひとこと」等々、投稿をお待ちしております。

肩肘張らずに、気軽に投稿して下さいますよう、お願いします。

庫裡トイレを 洋式ウォッシュレット式に改修!

平成六年に当寺の庫裡を改築していただいた当時は、門信徒様から、ご高齢の方でも、それ程、足腰の痛みを訴えられる方はおられませんでしたので、トイレは和洋一台毎、設置して頂きました。しかし、近年、当寺へご参詣される方で、ご高齢の方のみならず、お若い方でも足や腰の痛みを訴えられる方が随分と増えてきました。このことは、排泄時等に、大変支障をきたすことになりました。

そのために、本年の門徒総会に、



洋式ウォッシュレットに改修されたトイレです!

庫裡和式トイレを洋式ウォッシュレットに改修することをお諮りして、承認されました。その際、既存の洋式トイレも、ウォッシュレット式に改修した方が良いのではというご意見が採択されまして、この程、

おくやみ

松島森一様(越前町森)には、平成三十年二月二十七日、行年八十五歳にて往生の素懐を遂げられました。
ご生前のご功勞に、心より深謝申し上げます。



上野志げを様(越前町新庄)には、平成三十年三月十九日、行年九十八歳にて往生の素懐を遂げられました。
ご生前のご功勞に、心より深謝申し上げます。



庫裡トイレが、全面洋式ウォッシュレット式に改修されました。



これにより、足腰に痛みを抱えられる門信徒様も、安心してトイレを利用して頂けるようになりました。

ご理解ご協力頂きまして、有り難うございます。
(住職)

駒 啓一様(越前町天谷)には、平成三十年四月十日、行年六十八歳にて往生の素懐を遂げられました。
ご生前のご功勞に、心より深謝申し上げます。



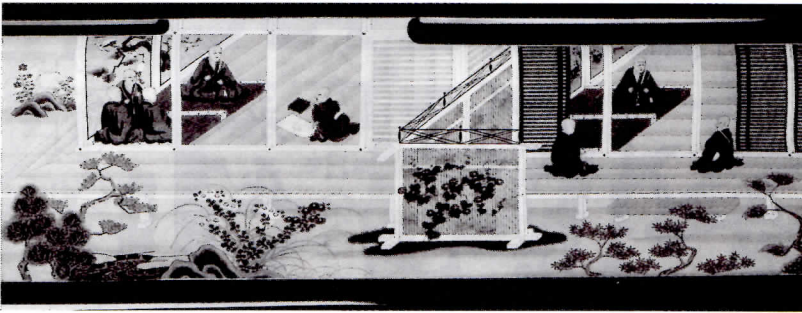
谷口美智恵様(福井市)には、平成三十年四月十四日、行年九十二歳にて往生の素懐を遂げられました。
ご生前のご功勞に、心より深謝申し上げます。



平成三十年度の 年忌法要を お勤め下さい!

本年度の年忌は左記のとおりでございますので、貴家の過去帳等を御確認していただき、皆様にとられてかけがえのない御先祖様の年忌法要を是非、勤めて下さいませう、お願いいたします。

- 五十回忌 昭和四十四年没
- 三十三回忌 昭和六十一年没
- 二十五回忌 平成六年没
- 十七回忌 平成十四年没
- 十三回忌 平成十八年没
- 七回忌 平成二十四年没
- 三回忌 平成二十八年没
- 一周忌 平成二十九年没



右図＝奥の畳に座すのが親鸞聖人、
椽の右に入西房、左が蓮位房
左図＝正面奥に親鸞聖人、右側に
聖人を図画する定禅法橋

第九図

親鸞聖人御絵伝

入西鑑察



親鸞聖人は、入西房が自分の姿を描きたいと思っていることを知り、聖人は、七条辺りに住んでいる定禅法橋という絵師に描いてもらいなさい、と仰せられた。聖人は、既に七十歳の高齢に達しておられたので、聖

人がお元氣なうちに御眞影をお写し申しておきたいと願っていた入西房は、大いに喜びました。

「親鸞聖人御絵伝」
浄土真宗の宗祖、親鸞聖人のご生涯を広く讃えんがために、親鸞の曾孫に当たる本願寺第三世覚如上人が親鸞聖人の求道の歩みを詞を著し、初稿本の絵は、親鸞聖人の直弟西仏房の孫、淨賀法眼に描かせています。

聖人の仰せに従い定禅法橋を呼ぶと、法橋は、聖人を拝するなり、「昨夜、私の夢の中に現れた聖僧・善光寺の御房こそ、阿弥陀如来様に違いないと合掌し礼拝した。目が覚めて、今、聖人は、善光寺の御房のお顔と全く同じです。」と驚き、随喜の涙を流しながら筆をとっているのが左図である。この不思議な出来事を考えていくと、親鸞聖人こそ阿弥陀如来様の生まれ変わりであり、その教えは、如来様の直説というべきなのである。

(参考文献『親鸞聖人伝繪』『親鸞聖人御絵伝』)

其の36

仏事 一口メモ

ほうじ 法事をつとめる

法事といいますが、一般的には「年忌法要」を指していわれます。広義には、法事は「仏法の事」ですから、朝夕のおつとめもお葬式も、仏さまの教えに基づいて行われるもの(仏事)すべてが法事といえますが、この冊子では、年忌法要ということで話を進めたいと思います。

法事は、亡き人をご縁にして行う仏教儀式です。亡き人をご縁にして行う行事は、宗教によって異なるでしょうし、仏教でも宗旨・宗派によって異なります。

例えば、追善供養(追善)ということばがあります。「仏教大辞典(法蔵館刊)には「人の死後、亡者の苦を除き冥福をいのるために善根福德を修めて、その功德をたむけるのをいう」とあります。私たちの力をもって亡くなった方を救おうというような意味です。一般的に法事は、この追善供養という意味で考えられています。

しかしながら浄土真宗は、「親鸞は父母の孝養のためとて、一返にても念仏もつしたること、いまだそつらわず」

(『歎異抄』第五章)と親鸞聖人自身が語っておられますように、亡くなった父母の追善供養のための教えではありません。浄土真宗の法事は、亡くなった方を救うために行われるものではないということです。

先の「仏教大辞典」にはつづけて「真宗の場合は他力往生が建前であるから自力の追善を必要とせず、年忌法事などを営むのはただ聞法と報謝(仏や祖師の恩に報い徳を感謝する)のためとし、追善とはいわない」とあります。私たちが法事をおつとめする意味は、私たちが自身が救われていくという内容をもっています。一つには「聞法」といわれています。聞法とは仏法を聞くことです。私自身をいいていて真実のことば(法)に出あうことです。亡くなっていかれた方から、本当に聞き取らなくてはならない大事なことを感じ取ることです。

二つ目は「報謝」です。真実に出あえたとき、私にまで教えを伝えてくださった方々に感謝する心が生まれるのです。そのとき初めて、亡き人に手が合わされ、亡き人を仏さま(諸仏)といただけるのではないのでしょうか。



(「サンガ」より)

お知らせ

永代経会

八月七日(火)

十一時半

御齋

一時半

永代経会法要

二時

法話 越前町上野徳永寺前住職

平等明信師

三時半

物故者総墓収骨

永代経会とは、亡き人から願いをかけられて生かさせていたでいる私達が、亡き人を偲び、亡き人に感謝申し上げる法会であります。

このかけがえのない法会に、ご家族、ご親族、ご法友お誘いあわせの上、何卒ご参詣下さいますよう、ご案内申し上げます。 合掌

ボランティア募集!!

寺周辺の

草刈り作業奉仕

と き 七月十六日(海の日) 八時集合

持 物 草刈機もしくは鎌、軍手 等

昼 食 用意します。

傷害保険 加入します。

小 雨 決行します。

炎天下で恐縮ですが、ご協力頂ける方は、お手数ながら七月十二日までに祐善寺までご連絡下さい。

草刈り作業のみならず、草運びや草むしり等の作業もありますので、どなたでもご協力いただけます。

皆様、どうかよろしくお願ひ致します。



婦人部活動

納涼祭への

協力のお願ひ

と き 七月二十一日(土) 八時集合

今年の婦人部活動は、納涼祭への協力、報恩講前の大掃除の二回を計画しました。

今年も納涼祭は、婦人部の皆さんにもお手伝いをお願いしたい、と考えています。

ご都合のつく時間、お力をお貸し下さると嬉しいですよ。

無理はせず、頑張りすぎず、ご自分のペースで手を動かし、和気あいあいと、納涼祭が進められるといいな、と思います。皆様、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

(婦人部 桑原文子)



編集後記

★平成三十年は、三十七年ぶりの大雪、福井豪雪と呼ばれる形で幕があきました。

☆国道八号線では、坂井市からあわら市の十km区間で、車約一五〇台が立ち往生し自衛隊の災害派遣、及び災害対策本部を設置。北陸自動車道では、富山県と福井県の間で通行止め、JR北陸本線は、金沢駅から敦賀駅間、終日運転見合わせ。また、物流の遮断によりスーパーやコンビニで品薄状態になったほか、ガソリンスタンドでも燃料が不足し、給油制限が行われるという、今まで経験したことのない事態に。

☆当祐善寺においても、本堂裏の排雪、更には庫裡大屋根の雪下ろしと、門徒有志、皆様方の尽力によりお陰様で難を逃れることができました。

☆天災は忘れた頃にやってくる、と頭の中では理解していても、喉元過ぎれば熱さを忘れる、というのが人間の愚かさです。

★納涼祭、永代経会へのご参詣を、お願ひします。

(松島 守)